

# THE KOBECOCO

JULY '97 No.434

 月刊 神戸っ子 7

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可  
1997年7月1日印刷 通巻434号  
1997年7月1日発行 毎月1回1日発行

★神戸まつり特集



小磯良平「休息」



PEARL COMMUNICATION



kinoshita  
pearl

パールサロン神戸

〒650 神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)

TEL.078-221-3170

FAX.078-221-9427

私たちのことよりも  
**セフィーロワゴン**を気にして下さい。



兵庫日産自動車社長廣瀬博美さんと  
総務部松下加代子さん

もっと日産になる。

**CEFIRO**  
**WAGON**

**兵庫日産自動車株式会社**

本社／神戸市中央区臨浜町3丁目1番18号 ☎078 (251) 5523





# Familiar Style



Fashions for Babies and Children

**FAMILIAR**®

〒650 神戸市中央区相生町1丁目1-21

フリーダイヤル0120-078-345

輝く光を  
ひとりじめ



JEWELRY **タジマ**

神戸市元町2丁目TEL.078 (331) 5761



塩原一正の

## グルメ実践教室



シリーズ第7回<フランスワイン巡り②>



## アルザス

フランスワイン巡り2回目はドイツとの国境に接し、ライン河が流れるアルザス地方です。アルザスは幅数キロ、南北110キロほどある細長い地方です。風光明媚な観光地として知られ、フランスの中でも三ツ星レストランが並ぶ美食の街でもあります。ライン河は地殻変動によって、山が陥没してできた河なので、アルザスのワイン畑はいろんな地層が表面にあらわれている特種な地域です。ワインの品質はライン河上流（地域的には南部）の方が比較的優れています。西側にあるヴォージュ山脈により冷たい西風がさえぎられ、果物、野菜が豊富に育つ上に、ヨーロッパの中では中心部に位置し、交通の要所でもあるアルザスは過去において何度も戦いに巻き込まれた地方でもありました。

### ★4種類の高貴品種ブドウのタイプ

フランスワインは産地とブドウ品種が結び付き、原産地をワインの銘柄としています。土壌が複雑に入り組み、異なった地質に相性のよいブドウ品種を植え付けるアルザスワインの場合はブドウ品種をワインのラベルに明示するのが特徴です。使用可能な7種類のブドウ品種としてリースリング、ゲヴルツラミネール、トカイ・ピノ・グリ、ミュスカ、ピノ・ブラン、シルヴァネール、ピノ・ノワールがあります。このうち最初の4つは高貴品種

といわれ、覚えておくとワイン選びに重宝するでしょう。

リースリングは最も高貴な品種で、女王とよばれている白ブドウです。豊かなのに繊細で奥ゆかしい酸味を持ち、菩提樹や桜もちのような香り。女王たる資質を保つためには酸



味と果実味の調和がほどよくとれるように、収穫量が制限されなければなりません。ゲヴルツラミネールはゲヴルツ（スパイシーな）という意味をもち、ライチやバラの香りがするワインで、酸味の穏やかなコクのある味わいです。次にピノ・グリは灰色の果皮をしたブドウ品種でまろやかさが際立つ味わい。最後のミュスカは生食用のマスカットと同じですがワインに用いられるのは小粒のため、香りが非常に豊かです。

### ★手に入りにくい2つのワイン

この4つのブドウ品種から通常のワインとは別に2つのカテゴリーのワインを作ることが許されています。1つめのヴァンダンジュ・タルディヴはヴァンダンジュ（ワイン用のブドウの収穫）をタルディヴ（遅らせたと）いう意味。つまり遅づみのブドウということで、風味が濃縮された味わいです。2つめはセレクション・ドゥ・グラン・ノーブル。セレクション（選別した）グラン（果粒）ノーブル（高貴な）とは貴腐ブドウのこと。まるで蜂蜜をワインの中に融合させたような風味の広がるワインです。アルザスワインは基本的に辛口に作られますがこの2つは例外的にどちらも甘口で、生産量が少なく高値です。特別な日のおきのワインとして楽しみたいものです。

20年前までは、アルザスワインといえば廉価で味わいのシンプルなものしか日本では知られていませんでしたが、現在では複雑・繊細な素晴らしいワインが手に入るようになってきました。美食の地方にふさわしいワインを知るためにブルゴーニュやボルドーだけではなく、アルザスも楽しんでみられることをお勧めします。



### 日本ソムリエスクール

〒650 神戸市中央区日暮通3丁目5番20号  
TEL.078-232-0810  
FAX.078-232-0896



■ Second Cover 〈7月〉

「第1回みなの祭(1933)」

中山岩太

160カ国地域10万点の中から400点を紹介

# 世界の少年少女絵画展

「世界の少年少女絵画展」は、160カ国・地域から送られた子どもたちの作品10万点の代表、400点を紹介する催しです。ユネスコをはじめ、各国の外務・文部省や在日大使館、NGO（非政府機関）等、多くの方々のご協力をえて、1995年秋に完成しました。以来、国際相互理解と子どもの人権を訴える催しとしてフランス、カナダ、モンゴルなど海外各国、さらに国内主要都市を巡回しております。今回、兵庫県初の展示を神戸市で開催します。



FRANCE 6yrs.F. フランス



CHAD 15yrs.F. チャド

会場／そごう神戸店 本館8階催会場

期間／1997年8月6日(水)～11日(月)の6日間  
通常10:00～19:00 (8月6日のみ12:00～)

主催／「世界の少年少女絵画展」  
神戸展実行委員会

入場無料

●問い合わせ先

創価学会 兵庫池田文化会館 広報部

〒651神戸市中央区浜辺通6-3-16 TEL.078-271-1233

## WORLD BOYS & GIRLS ART EXHIBITION



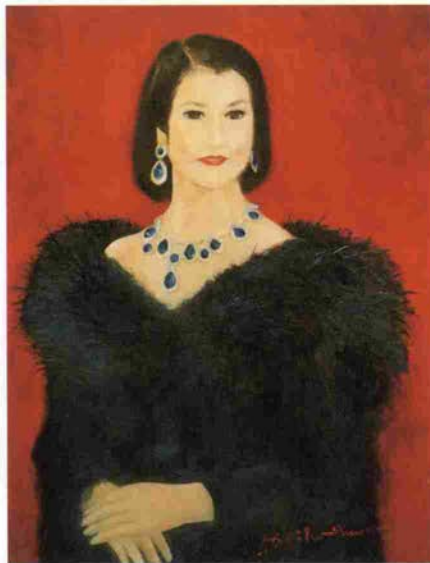
——神戸の街角・神戸の女<sup>ひと</sup>——  
第7回 村上美穂

“ベイシティバンクかんしん”  
は「共感・対話・信頼」を企業  
理念として、地域の文化・芸術  
の育成に努めております。

この“かんしんストリートガ  
ラリー”も芸術の香りをほの  
かに漂わせたアートのスポットと  
して、本年は「神戸の街角・神  
戸の女（ひと）」と題したシリー  
ズで様々な作品を紹介してい  
ます。



生田新道に面したストリートギャラリー



シャンソン歌手



むらかみ みほ  
〈画家〉  
西宮市在住

神戸に生きる女性は魅  
力的だ。個性を生かし、  
思うままに人生を楽しん  
でいるように見える。そ  
れは神戸の街によって育  
まれたものなのだろうか。

私も、蘇る神戸とともに  
素敵に生きていきたい。

# 暑中お見舞い申し上げます

平素のご愛顧を心より感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



*Esthetic Salon*  
**GUERLAIN**  
PARIS

ホテルオークラ神戸店  
神戸市中央区波止場町2-1メリケンパーク内  
ホテルオークラ神戸7F

**TEL.(078)391-7811**

予約受付時間10:00~20:00

わたくしどもホテルオークラ神戸店では、夏のお肌を優しくケアするスリミング&フェイシャルコースに、トライアルコースを設けております。お得なこの機会に、パリの名門の技をご体験下さい。

店長・寺田をはじめ、スタッフ一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

**【トライアルコース】** 期間/8月10日(日)まで各コース限定10名様

●スーパーボディスリミングコース

または

●フェイシャル・ホワイトニングコース

※まずはお気軽にお電話下さい。スタッフがていねいにお応えします。

各コース  
一回 ¥12,000





↑5月31日(土)マリスト国際学校が震災で全壊し、新校舎完成。竣工披露式が。(右下)ブラザー・ジョージ・フォンタナ校長



↑県内33大学と県が連携した「ひょうご講座」学習の拠点となる神戸交通センタービルの竣工を機に、同ビル4階で6月10日(火)開講式が開催された。ひょうご大学連携事業推進機構理事長を務める貝原兵庫県知事が式辞を



↑(上)6月1日パールフェスタ '97「パールパーティ」がホテルオークラ神戸平安の間で。(下)第1回国際宝飾展がボーアイの国際展示場で6月11日～13日迄開催。田崎俊作会長〈(社)日本真珠振興会〉の招待パーティがホテルオークラで…



↑I.T.C. (会長野田絢子さん〈日本リージョン会長〉)の全国大会が6月4日ポートピアホテルで開催され、千人が参加。(写真は夜のパーティで歴代会長の紹介風景)



↑現代アートの植松奎二さんが久々に西宮大谷美術館で5月2日～6月22日まで、スケールの大きい国際作家としての力量を発揮した、緊張感あふれる展覧を開催



←6月14日(土)兵庫県民会館11階大ホールにおいて、平成8年度の「半どんの会文化賞」の贈呈式が開かれ、約300人が集い24人の受賞者に祝福を贈った。おめでとう！

→6月神戸水交会(田崎俊作会長)が30周年を迎え田崎ホールで式典が開かれた

## KOBE スナッフ



神戸水交会創立30周年記念式



## 神戸っ子'97

岩田達示

＜演出家＞

### 離れられない

「オペラなんて嫌いでした。大きな口を開けて歌うなんておかしいでしょ」

東京外国語大学在学中に「大道具のアルバイトがきっかけで」舞台と関わり、劇団「第三舞台」のイギリス公演などに演出部員として参加。その後、本格的にオペラ演出を志し、昨年三月、初演出したオペラ「霊媒」で五島記念文化賞を受賞。特典の海外留学が決まっているが「どこに行くかはまだ決めていない」。

実家の寺は地震で全壊し、父親を亡く

した。五月、昨年正月以来、東京から帰神。「風景は見えないようにしています。神戸から離れられなくなりそうで」

作り手と受け手とが離れてしまった現在の芸能。「本来の芸能は、手に触れられる相手を幸せにできる職業なんです。『歌う言葉』を介在させるということでは、寺（お経）とスカラ座（オペラ）は同じだと思う」

自らを「弱虫」と呼ぶ。人、歌、言葉。離れられる人間なんてそういない。（矢）





## 神戸っ子'97

辻 有紀

＜バレリーナ＞

### 好きなことは続ける

「仕事を終えてから一日平均三時間、土日は五時間ほど練習します」

鍛えられた美しい肢体に小さな顔。淡々と話すその表情から練習の厳しさは想像できない。

五歳で上月バレエスクールに入学。バレエが好きで母親の勧めだったという。それ以来、二十三歳の今日まで上月先生一筋に師事してきた。七月二十一日の第二十回記念発表会では二度目のプリマを演じる。作品は古典の名作「白鳥の湖」。

「オデットの優しさ、可憐なイメージを内面から表現したい」と抱負を語る。

趣味は、との質問に「ありません」、バレエですね。そのバレエの魅力は「ひとつの目標（発表会、公演）があって、そこに辿り着くまでの過程（練習）が楽しめること。皆で何かを創り上げていく喜びがあります」。夢は少しでも上手くなって、長く続けていくことだという。「好きだから」。心からバレエを愛する人の笑顔だった。



左：有馬由起さん 中央：高木奈緒子さん 右：熊谷馨理さん



〈232〉

## '97フラワープリンセス ひょうご華やかにデビュー

高木奈緒子さん（'97代表フラワープリンセス）

熊谷馨理さん（'97フラワープリンセス）

有馬由起さん（'97フラワープリンセス）

花と緑あふれる兵庫県のシンボルとして、去る4月29日（祝）のみどりの日に「'97フラワープリンセスひょうご最終選考会」が兵庫県フラワーセンターで開催されました。当日、応募総数221名の中から、三木市の高木奈緒子さん（21歳）が代表プリンセスに、芦屋市の熊谷馨理さん（22歳）と姫路市の有馬由起さん（22歳）がプリンセスに選ばれました。

新プリンセスには今後1年間、県内産花きのPRや兵庫県政のイメージアップのため、県内各地のイベント等で「兵庫の花」として活動していただきます。



推薦者 鷺尾弘志  
兵庫の花づくり推進協議会  
会長・兵庫県花卉協会  
会長・兵庫県議会議員





後列左から林貴子さん 鶴田奈央子さん 石田充都子さん 前列：長井千尋さん



〈233〉

## '97パールプリンセス達は 日本の真珠の魅力をPR

長井千尋さん（'97代表パールプリンセス）  
石田充都子さん（'97パールプリンセス）  
鶴田奈央子さん（'97パールプリンセス）  
林貴子さん（'97パールアイドル）

6月1日は真珠の日。ホテルオークラ神戸で開かれた“パールフェスタ1997”において、全国から応募のあった1402人の中から、パールプリンセスが4人選ばれました。

いずれもアヤメかカキツバタともいえるインターナショナルな才媛ばかり。代表の長井千尋さんは、現役の薬科大学学生で真珠の魅力を科学的に紹介して会場をあっといわせました。

4人のプリンセス達は神戸で初めて開かれた、国際宝飾展で、世界のお客さまを迎えて大活躍した。



推薦者 森 隆  
'97パールフェスタ  
実行委員長  
森真珠代表取締役社長